



ジェンダー社会科学研究センター

Center for Gender Research and Social Sciences
Hitotsubashi University, Graduate School of Social Sciences

CGraSS 公開レクチャー・シリーズ

第11回

講師: ジャクリーン・アンドールさん

Dr. Jacqueline Andall

Italian Feminisms: From “Wages for Housework” to “Precariousness”

イタリアのフェミニズム

——「家事労働に賃金を」から「プレカリアート」へ——

1970年代初頭、「家事労働に賃金を」というスローガンを打ち出したイタリアのフェミニズムは、それから40年近くを経過したいま、大量の不安定就労層（＜プレカリアート＞）の出現、さらには移住家事・介護労働者の急増という状況のなかで、どのような展開を見せているのか。若い世代のフェミニストたちは何を思い、どう社会を変えようとしているのか。イタリアにおけるフェミニズムと同国で働くアフリカ出身移住家事労働者の問題を追いかけてきたジャクリーン・アンドールさんにお話をいただきます。講演は英語ですが、逐語通訳を入れます。

ふるってご参加ください。予約は不要です。



- 司会／通訳: 伊藤るりさん
(一橋大学社会学研究科・教授)
- 日時: 6月18日(金)16:30～18:30
- 場所: 一橋大学東キャンパス
マーキュリータワー4階 3406教室

◇講師紹介◇

ジャクリーン・アンドールさんは、イギリス・バース大学ヨーロッパ研究学部上級講師、一橋大学外国人客員研究員。専門はイタリア地域研究とフェミニズム研究。イギリス・社会主義フェミニズムの流れを代表する雑誌 *Feminist Review* の編集委員としても活躍している。

- 共催: 国際移動とジェンダー (IMAGE) 研究会

* 連絡先: ジェンダー社会科学研究センター cgrass@soc.hit-u.ac.jp